

「2016 サポーターズカンファレンス」事前質問・要望事項

※同じ内容の質問・要望は一部集約しています。表現は一部修正しています。

(1) チーム強化、アカデミー、レディースについて

○トップチーム

1. 今年の補強の考え方と高卒新入団選手の起用方法について、また今後の補強の考え方（外国人含む）を聞かせて欲しい。
2. ここ2,3年、外国人枠をフル活用していない。これは予算的な問題なのか、あるいは単純に仙台に合いそうな選手が見つからないのか、できるだけ日本人でという方針があるのか、その考えを知りたい。
3. キャンプでは故障者や体調不良者が続出している。メディカルケアやトレーニング部分において万全の態勢でメニュー作りをしているのか。軽度の故障は仕方ないのかもしれないが、少し多いのではと感じた。特に体調不良者については本人の自覚の問題だと思う。自分の体調管理が出来ない選手はプロ失格だし、フロントスタッフのアドバイス等で未然に防げる部分もあると思う。委細説明は望まないが、可能な範囲でメニューやケア内容を教えて欲しい。

○レディース

4. レディースジュニアユースの一期生がこの3月に卒業する。今後高校卒業後の進路まで多少なりとも関わって行くという考えはあるか。

○アカデミー

5. 蓮見知弘アカデミースカウトの後任のユース担当スカウトを配置する予定はあるのかうかがいたい。
6. 練習環境について：プロクラブのアカデミーのメリットの一つはプロ選手の姿を間近で見ること、プレーや立ち居振る舞いの良い手本とできることだと考える。ベガルタは練習場が別々なのでなかなかその恩恵を受けられないのが現状と思う。将来的に、トップ・レディース・アカデミーが同じ練習場を共用する構想はあるのか。
7. DFの育成と守備の文化の醸成：CBは慢性的に人材難で、毎年のように玉突き移籍が起きている。近年は幸い良い補強ができているが、将来的にはアカデミーからの輩出が望ましいと考える。世界を舞台に戦える、巧くて賢くて強いDF（特にCB）を育てるために、アカデミーに専任のコーチを置いてはどうか。（必要に応じてトップの選手も個人指導を受けられると尚良い）日本代表でさえ守備の未熟さを指摘されていることを考えると、海外から招聘しても良いと思う。また、守備の文化の未熟さも度々指摘されている。かつて攻撃的な守備でJ1を席卷したクラブとして、クラブから守備の文化を発信していくことはできないか。（公式チャンネルで定期的に守備講座、ローカル局で解説コーナー、トークショー等）優秀なDFの育成が優秀な点取屋の成長に繋がると考えるので、長いスパンで取り組んではどうか。

(2) 試合運営、サポーター対応について

8. 入場時間が早すぎる、2時間前でよい。拘束時間が長く他の予定が入れづらい。子供連れの方や年配の方たちも季節によっては並ぶのが体力的に厳しいので、行きづらい、という声も聞く。試合開始まで時間が長すぎるため、皆、スタジアムの外に出てしまい、スタジアム内のイベント

の盛り上がりのなさやコンコースの売店の売上げの鈍さに繋がっているのではないか。

9. 入場前のシート貼りについてのルールと運用について：

①観戦ルール事項によると入場 1 時間前から 30 分の間前列整理をするとあるが、昨年リーグ戦では一度も実施していなかった気がする。一方、天皇杯（3 試合）ではきちんと開場 1 時間前に列整理が実施できており、行列がかなり縮まり、スムーズな入場に繋がっていたと思う。リーグ戦でも列整理の徹底をお願いしたい。

②シート貼り列の前方において、2～3m 四方のブルーシート、あるいはテープを I の字に貼って待機している人を見かける。試合当日、そのブルーシートに後から何 10 人もの割り込み・横入りが横行しており、列の後ろで待機している人たちに対して不公平さを感じる。せいぜい、50cm 四方のシートに同伴の知人・家族 2～3 人が後から来るくらいのもので許容範囲ではないか。シート 1 枚＝一つのサポーター団体全員分というのはあまりに不公平である。新潟など他のチームではシートの大きさが 1m 四方以内につき 2～3 人以内となっており、シートの大きさを設定して欲しい。

10. 年間チケット先行入場でのサポ自の席取りが酷い。対応を望む。

11. スタジアムグルメについて、価格見直しや新メニューの予定はあるのか。

12. 浦和のように、試合中、ゴールシーンのみでなくリプレイを活用できないか。観客へのサービスはもちろんのこと、判定は覆らなくても、いい意味で審判に緊張感を持ってもらえると思う。

（3）集客策、営業強化、フロント業務について

○観客増・集客策

13. 入場者数増加にもっとサポーターの力を使ってはどうか。

14. 観客動員数を伸ばすためのアイデアをサポーターも含め、より積極的に考えていく必要があると感じている。サポーターズカンファレンスの回数を年 1 度に限らず複数回開くことを要望する。（例として甲府はチーム成績に関する部分を除いた分野に関するカンファレンスを年数回行っている。）

15. サポーター以外の観客（サッカーに関心のない人々）を呼び込むために：昨年度の広告等を見ると、不特定多数の人々へのアピール機会が増えたように感じ、良いことと思っている。ただし、もっともっと工夫をし、もっともっとアピールすることが必要と考える。

提案①：JR 仙台駅中央改札口正面に「ベガルタ仙台」が目に入るようにする。また、その近くにグッズショップ（コーナー）を作る。視覚的・感覚的アピールと仙台（宮城）＝ベガルタ仙台という雰囲気作りを行う。

提案②：スタジアムグルメのアピール。サッカーに関心のない人を呼び込むには、グルメアピールが効果的と思う。また、リピーターやアウェイサポーターのためにも必要である。ベガルタのウェブサイトにもそのコンテンツを設け、リーフレットやチラシも準備する。V-Press で「今節の一押しグルメ！」というコーナーを設けてはどうか。

○座席割り

16. 昨年よりサポーター自由席をゴール裏とバックに分けたが、年間通してバックにいた自分からするとデメリットしか感じなかった。ベガルタ応援の肝である一体感や迫力が確実になくなり、これで選手たちの後押しができていないのか、相手チームへのプレッシャーになるのか、疑問である。また、この状態ではライト層や初めてのお客さんに応援が凄くて楽しいなどと思ってリピーターになってもらうことはできないと思う。来年からは元に戻すことを切に希望する。バック分

値上げの入場料収入以上のモノを失ったと思う。

○チケット・SOCIO CLUB

17. 年間チケットの特典がマンネリ化していると感じている。改善を希望する。
18. 17年シーズンの話になるが、消費税増税によるチケット代（年間チケット含む）の値上げは検討しているのか。
19. 試合後のチケット販売所での次回チケット販売と同時にSOCIO CLUB会員入会も可能にできるようにして欲しい。例えば、勝ち試合直後、新規客層が一番購買意欲が高まっている状況であり、その熱が冷めないうちにSOCIO CLUB会員に引き入れるのは有効な方法であると考える。
20. 14年から15年でSOCIO CLUB GOLD会員数が350人ほど減少している。それに対して歯止めをかけ改善する策はあるか。（逆にスポンサーとドリームプロジェクトパートナーを20社、20団体ほど増加させた点、またレディース会員が約650名いることは評価できる。また、営業部に新規開拓推進室を設置したとのことでますますのスポンサー企業増加を祈念する次第である。）

○経営・営業・グッズ

21. 昨年度は新ユニフォームの好影響もあり黒字になりそうだと聞いている。今年もユニフォームのデザイン変更である程度の売り上げが期待できるが、いつまでもそこにばかり頼ってはいただけないだろう。ユニフォーム以外で来年度以降、安定して黒字経営していくために（主に観客増に向けて）何か取り組んでいること、これから取り組もうと考えていることがあればお聞きしたい。
22. 16年度は広告協賛金を昨年に比べて増やした予算を組んでいる。スポンサー獲得について具体的方策を伺いたい。
23. 昨年末にスポンサー募集開始のタイミングとズレてJリーグ理事会で承認された背中裾のスポンサーについて、今後獲得する考えはあるか。
24. 泉中央や八乙女の飲食店にもっと営業をかけるべきではないか。13時あるいは14時キックオフのホームゲームの時、試合後に開いている飲食店が少ない。祝勝会や残念会ができる場所がなく、せっかくのお客さんを逃していると思う。
25. 今まで募金箱を設置していた所に電子マネーの勧誘をし、断われた所から募金箱を回収した。募金箱は少額な上に回収の手間がかかるので廃止したということか。希望した所には募金箱を残し、スタジアムでの回収など検討はしなかったか。日程のポスターなどを貼っていただく場所が減少することを危惧している。
26. 今年のユニフォームのデザインコンセプト、決定のプロセス、売れ行き状況を教えて欲しい。早期のデザイン変更の予定はあるのか。毎年デザインを変更しているが、価格見直しは行わないのか。「ユアスタをゴールドに染めろ！」という企画において、青の2ndユニフォームを着たサポが「オシャレ de 賞」に選ばれるのはおかしいと感じている。

（４）情報公開について

○HP・SNS活用

27. HPのデザイン、特にSOCIO CLUB向けの情報を工夫して欲しい。現在はSOCIO CLUBのバナーをクリックすることで情報を取得できるが、ワンクリックする手間が発生する。チケットのSOCIO CLUB先行販売などは、HPトップにバナーを作るとか、ニュースリリースにお知らせを載せるなどして欲しい。忘れて先行販売期間を逃すことがあるので目立つようにして欲しい。
28. ホームタウンブログでは、現在ベガッ太さんとチアのブログが一緒になっているが、正直混乱する時がある。そこでホームタウンブログを廃止してベガッ太さんとチア単体のブログにして欲

- しい。特にベガッ太さんはマスコット総選挙優勝や書籍発売等とJリーグ屈指の人気を誇るマスコットなので、他チームのようにマスコット単体のブログやSNS等の展開があってもいいと思う。
29. ホームタウンブログでは今はチアリーダーズとベガッ太の内容が混在しているので、別個にしたほうが分かりやすいと思う。「ベガッ太の部屋」的な専用ページを作るのも面白いと思う。
 30. ネット媒体の更なる活用と来場者への導線作り：広報関係の体制が変わったことでだいぶ改善されたものの、まだまだ弱いと感じる。ベガルタのような地方クラブは、地元に住んでいる人向けに発信するだけでは限界がある。宮城出身、または進学や転勤等で一時期宮城に滞在したことがある県外在住者に向けて情報発信するにはやはりネット利用が最適と考える。宮城との繋がりを維持し、折に触れて来仙してユアスタに来場し、いつかまた宮城に住みたいと思ってもらうための縁として、スポーツクラブの働きは非常に大きいと考える。特にJリーグはクラブ数も多く全国に散らばっているために様々な地域の人が行きやすいという土壌がある。宮城県に興味のある不特定多数の人に対してネットを介してアクセスしてもらい、ベガルタに興味を持ってもらう流れを積極的に作って行って欲しい。(ニコニコ生放送を利用し若い世代にアピールする、など参考情報を頂きました)
 31. 来場者をリピーターに育てる仕掛けを増やしたい。そのためにもSNS等で来場者に対するアフターフォローをしてみてもどうか。
 32. 最近、クラブ公式インスタグラム(Instagram)がスタートした。Twitterではなくインスタグラムとした理由は何か。また公式LINEとの棲み分けはどのようにしていく予定か。
 33. 公式LINEの内容について。これは致し方ないが、チケット販売やソシオクラブの入会の告知など、かなり商売を意識した内容も多く不快に感じることもある。LINEでクラブリリースのタイトルだけでも流すことはできないのか。こうした情報を外部サイト(河北新報)のメールやTwitterのベガルタファンアカウントから知るのはあるべき姿ではないと思う。
 34. 昨年末からのLINEの積極的発信、1月からのInstagramの活用などが始まり、SNSを利用した外へ向けた情報発信に漸く改善の傾向が見られたことは大変好ましく思う。例えばInstagramを利用してサポーターへサイン入りグッズをプレゼント(フォローした上で「いいね」をした人をランダムに選ぶなど)するなど、サポーターの関心を惹くような努力を積み重ねていただきたいと思う。また、より多くの人間が情報に触れられるようYouTubeのチャンネルのリンクをトップページに貼る、トレーニングブログに公式ホームページ同様FacebookやTwitterとの連動ボタンをつけるなど情報拡散をより効率よくする方法を検討していただきたい。加えてLINEスタンプの販売も検討していただきたい。新たなグッズ収入となると考える。(まずはベガッ太画伯の絵あたりからでも)

○広報全般

35. 開幕前の期待感を煽る仕掛けを：毎年、長期間のキャンプのため、選手や監督が開幕前のプロモーションに参加できないという事情がある。(それを克服するためにももっとネット活用したい)キャンプ前の固定客向けイベントだけでなく、不特定多数にPRできる仕掛けを増やしたい。特に去年と今年は長くチームの顔となっていた選手の移籍があったため、「今ベガルタって誰がいるんだっけ？」という会話をよく耳にする。キャンプ前は行事が詰まっていることは重々承知だが、駅前のビルのアトリウム等でイベントをする等で、道行く人にチームを知ってもらうきっかけがあると良い。
36. 復興支援室の新設は素晴らしい。しかし、いくら素晴らしい活動をしてそのことを知ってもらわなければ意味がないと考える。マスコミをもっと有効に活用して欲しい。その点、川崎の復興

支援活動などはいつもマスコミに大きく取り上げられていて、やり方がうまいと感じる。見習っていただきたい。

(5) その他

○震災復興

37. 震災復興を掲げながら、ユニフォームにメッセージ（「がんばろう宮城・東北」のワッペン）を1年でやめた理由を聞きたい。楽天は2015シーズンまでユニフォームやヘルメットにあった。積極的な発信力が決定的に欠けているように見える。

○紫山練習場

38. 紫山の練習場はいつからサポーターに練習を公開する予定か。観客席整備の予定はあるのか。紫山で練習がある時も野村のクラブハウスで待っていればファンサービスはしてくれると思うが、いつ戻ってくるか分からないため、練習場に行く気が遠のいてしまう。

39. 紫山サッカー場の建築スケジュールはどうなっているのか。モデルにしている他クラブの練習施設はあるのか。（札幌のようにメインスポンサー工場やクラブハウス、オフィシャルショップの併設など）

○サテライトリーグ

40. 今シーズンはサテライトリーグが復活する。その詳細情報（観戦料、場所など）を知りたい。

○その他

41. フットサルのヴォスクオーレ仙台をベガルタの組織に取り込めないか。

以 上